



新本っ子

学校通信 No. 35
令和4年11月発行
新本小学校

【学校教育目標：豊かな人間性を持ち、実践力のある子どもを育成する】 令和4年11月4日

新 自分で考える子 **本** 本気で取り組む子 **義** きまりを守る子 **民** みんな仲良く元気な子

学習発表会に向けて～予行練習～【全学年】



2日(水)、全校で学習発表会の予行練習を行い、当日(5日(土))に向け準備や練習をしてきた成果を、児童相互に発表し合いました。

暗唱劇、英語を使った説明や表現、合唱、合奏、総合学習(総合的な学習の時間)のプレゼン発表など、日頃の学習の成果を生かした発表内容で、見応えや聞き応えがありました。児童にとっては本番さながらのリハーサルになるとともに、お互いの学習や発表の工夫を共有し、参考にするよい機会となりました。

明日5日(土)はいよいよ発表会当日。日頃の学習の成果や予行練習の最終チェックを生かし、自信をもって発表してくれることと期待しています。どうぞ来場の上、楽しくごゆっくりご覧ください。



勇気【10月31日 朝礼講話】



11月の品格目標は勇気です。本当の勇気について、「モチモチの木」というお話を通して考えていきたいと思います。

主人公は豆太。おじいさんと暮らしている5歳の男の子です。とても臆病で、夜中におしっこにもいけません。何しろトイレは外にあるので、おじいさんにいつも一緒に起きてついてきてもらい、おしっこをする子でした。

ある日の夜中、おじいさんの苦しんでいる声で豆太は目を覚まします。おなか痛くなり、転げ回ってうなるおじいさんを見ていた豆太は、思わず、寝間着の

まま外へ飛び出します。そして、暗い山道を泣きながら、怖いのを我慢して、ふもとの村のお医者さんへ呼びに行きました。そんな豆太にある日、元気になったおじいさんが優しい言葉をかけます。



「自分で自分を弱虫だなんて思うな。人間、優しささえあれば、やらなきゃならねえことは、きっとやるもんだ…。」

豆太は大好きなおじいさんが死んでしまうと、夜中の山道を、怖いのを我慢してお医者さんへ呼びにいったんですね。

このお話で本当の勇気とは、豆太のように、いざとなったらやらなければならないこと、そして、正しいことができる人のことだと教えてくれます。

さて、品格ポスターには、「正しいことを進んで実践していますか?」と書かれています。正しい考えや優しい心をもった人なら、豆太のように、勇気のある人に皆さんもなれると期待しています。